

静岡県漁業協同組合連合会
1089 静岡市追手町 9-18
16.4.16 ☎ 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 第69回大漁祈願祭を挙行 大漁満足と航海の安全を祈願

本会及び県信漁連では、去る4月13日三島大社において水産関連団体の協賛により、第69回大漁祈願祭を挙行しました。

同祈願祭は、我が国最初の漁業法が誕生した明治34年4月13日を記念して、昭和8年に定められた水産デー祭りの主行事として実施されたもので、昭和9年に第1回が行われて以来、戦時中の2年間を除いて毎年恒例行事として執り行われてきました。

当日は県をはじめ、本県漁業関係者約70名が参列し、本殿神前には各漁協等から奉納されたタイ、ブリ、サクラエビ等の海の幸が供えられ、禰宜や巫女による「人長の舞」、「八乙女の舞」が奉納された後、本会、県信漁連、県、地区運営委員会及び水産関連団体の代表者が順次玉串を奉奠し、本年の大漁満足と航海の安全を祈願しました。

2. 最近の石油情勢について - JF全漁連 -

JF全漁連では、去る4月7日平成16年度第1回石油部会を開催し、最近の石油情勢、石油製品の供給価格改定(値上げ)を協議・報告しました。

最近の石油情勢については、原油市況WTIにおいてスペインのテロ事件による心理的な供給不安や米国北東部の大寒波によるヒーティングオイルの高騰などから38ドル/バーレル台まで上昇しました。その後3月下旬には36ドル/バーレル前後に下落しましたが、今後予断を許さない状況となっています。

石油製品市況で、シンガポール・ガスオイル市況は3月に入ると韓国の輸出余力が減少していることや、中国を含むアジア域内の需要が旺盛であることから、3月下旬現在38ドル/バーレル前後で堅調に推移しています。

一方、国内石油情勢は1月にはいると、石油製品の国内在庫が低水準で推移する中、西日本に強い寒気が襲来し需要が増加し始め、元売各社のスポット市場での調達も活発になったことから、下旬には製品市況は上昇基調に転じました。

元売各社は4月からの製油所の定期修理に備えて、在庫積み増しのためにスポット市場からの調達を増大させていることから、ガソリンをはじめとして製品の需給は逼迫しています。さらに、原油価格の高騰によるコスト上昇分を末端市況へ転嫁すべく、元売各社は4月から6月の原油処理量を対前年比2~5%削減することとしており、今後の需給動向に十分注視する必要があります。

このような状況の中、JF全漁連としては供給価格の改定を可能な限り据え置いてきましたが、海外石油製品市況の高騰に伴う輸入製品のコストアップ並びに取引元売などから強い値上げ要請を受け、これ以上のコストアップ分を吸収するのは限界に達しており、供給価格を2,200円/klの値上げをやむを得ず承しました。

3. 淡水魚と海水魚の実用化レベルでの共存が可能

産業技術総合研究所(茨城県つくば市)では、肉眼では見えない微小な酸素の泡を作る

ことにより、塩分濃度の低い水で海水魚を飼育する技術を水処理設備会社REO研究所(宮城県)との共同研究で開発しました。

ナノバブル(超微小気泡)の直径は100~200ナノメートル(ナノは10億分の1)で、炭酸水の気泡の1万分の1程度です。普通、泡はすぐ消えてしまいましたが、ごく薄い塩水やミネラルウォーターなど電解質イオンを含む水と気体を特殊な方法で混ぜ1ヵ月以上残る気泡を作りました。通常塩分が海水の約3分の1の濃度では、海水魚は生息できませんが、1%程度の塩分を含むナノバブル水では、海水に生息するマダイ、アジ、カレイ、リュウグウハゼ、カニと淡水に生息するニシキゴイ、金魚、ザリガニなどが45日間生き続けて、これまでに30種類の魚で共存を確認しました。

酸素のナノバブルは生物環境適応力を向上させる働きがあり、殺菌力の強い泡にすれば、畜産、食品加工、医療などの分野で安全な消毒薬として使えるなど、泡の種類により幅広い応用ができます。また、塩分濃度が低いと飼いにくい外洋性のマグロやブリにも応用ができれば、養殖のすそ野が広がるほか、薬浴に頼らない養殖・蓄養法の確立にもつながるとしています。

4. 個人情報の情報管理の徹底について

IT関係省庁連絡協議会幹事会では、個人情報保護に関する法令及び申し合わせの趣旨などを踏まえ、個人情報の情報管理を徹底するため、以下の対策を講ずることが確認されました。

特に、近時の事案を踏まえ、保有する個人情報保護へのアクセス管理の徹底、個人情報の情報管理体制の整備、企業の内部関係者による個人情報の持ち出しの防止に関する対策、外部からの不正アクセスの防御等情報管理システムの堅牢化などをおこなうとともに、個人情報の漏洩、もしくはそのおそれのある事態が発生した場合には「組合の業務の健全かつ適切な運営に支障をきたす行為またはそのおそれのある行為」に該当するものとして、所轄省庁に報告することを徹底してください。

5. 新刊図書紹介 「水産小六法平成16年度改訂版」

(株)水産社では、このほど「水産小六法平成16年度改訂版」を発行しました。

平成14年度改訂版に続く第18次改訂版となる本書は、平成14年3月、水産基本法に基づき水産基本計画が策定され、続く6月に閣僚決定された「漁業再建整備特措法」「水協法」「漁業災害補償法」「遊漁船業法」の水産4法と、その後出された水産関係法令を通達、告示まで網羅した法令集で、水産業界においては必携の実務書です。

定価：15,000円(税込) 規格：B6版・1,798頁 問合せ先：(株)水産社 TEL03-3353-8221 FAX03-3353-8225

6. 諸会議・日程 (4月20日(火)~5月3日(月)) - 既存分省略 -

4月20日(火) 県漁業振興基金 = 伊豆西岸協議会 (内浦漁協)

4月21日(水) " = 伊豆東岸協議会 (網代港漁協)

4月22日(木) 県信漁連 = 第1回理事会 (県水産会館)

4月28日(水) 県漁港協会 = 理事会 (ブケ東海静岡)

4月30日(金) 県旋網漁業者協会 = 石廊沖漁場調整協議会事前会議 (下田市漁協)